

INTERVIEW

アディダス ジャパン株式会社 **高木 将**さん

カタールを歓喜の地に。 アディダス サッカー日本代表 2022 ユニフォームに 込められた願い

サッカー日本代表のユニフォームが新しく生まれ変わった。カタールW杯に臨む日本代表はこの新ユニフォームを身にまとい戦う。今回のリニューアルの中心人物であるアディダス ジャパン株式会社の高木さんに、新デザインに込めた思いをうかがった。

夜空に舞った無数の折り鶴

——アディダス サッカー日本代表 2022 ユニフォームのデザインコンセプトを教えてください。

「カタールを歓喜の地にしたい」。すべてはこの思いから始まりました。悩んだのは、歓喜をどうやって表現するのか。何度も何度も試行錯誤を重ねるなかでたどり着いたのが、2002年のワールドカップです。ブラジル代表が優勝カップを掲げた瞬間、約270万羽の折り鶴が決勝の地、横浜の空に舞いました。あれから20年後の2022年は歓喜の中心に日本代表がいてほしい。この思いを、当時の光景からインスピレーションを得て、「ORIGAMI」で表現しようと考えました。

青地のユニフォームにあしらわれた幾何学模様は、折り紙を折ったときにできる折り線や展開図をモチーフにしています。折り紙は「山折り」と「谷折り」を繰り返すことで、作品を作り上げます。サッカー日本代表も、「ドーハの悲劇」や「ジョホールバルの歓喜」に代表されるように、“山あり谷あり”のドラマを経て今にいたっています。一つひとつの歴史に意味があり、積み重ねることによって強くな

る。それをこのユニフォームで表現したかったんです。

もともと、日本には折り紙で鶴を折り、思いを託す文化があります。2010年の南アフリカワールドカップの壮行会では折り紙が活用されましたし高校サッカーでは、負けたチームが次の勝者に思いを託すために千羽鶴を渡す光景がよく見られます。こうした文化は日本のサッカーにしっかりと根付いています。コロナ禍で人のつながりの大切さを皆が再認識しているなかで、折り紙によって人と人をつなぎ、我々日本人とサッカー日本代表が一体となって、カタールの地で歓喜の瞬間を迎えられることを願っています。

経験者だからその思い

——今回のリニューアルを任されてプレッシャーはありましたか？

アディダス ジャパンでサッカーを担当したら、この仕事は誰かが目指すところだと思います。日本代表は我々のなかでも別格の存在だと思いますし、アディダス ジャパン自体もサッカー日本代表とともに成長させてもらっています。何より、自分自身も子どものころからサッ

カーをやってきたので、意識せずとも自ずと気合いが入りました。小中学生のころは名古屋グランパスのアカデミーでプレーし、高校ではインターハイに出場しました。本気でサッカーに打ち込んできたからこそ、代表選手のすごさはわかっています。自分とは別次元の実力がある選手たちが着用するユニフォームを作れるというのは、私にとっても大変貴重な経験となりました。

——小学生の読者の方々にメッセージをお願いします。

小中学生のころは、とにかくサッカーが楽しくて仕方がない時期だと思います。私も子どものころは朝早くから夜遅くまでサッカーに明け暮れていました。中学、高校と年代が上がるにつれて大変なことも増えていくと思いますが、とにかく今はサッカーを楽しんでプレーしてもらいたいです。もちろん、今年はこの新しいユニフォームを着て一緒に日本代表を応援してほしい気持ちもありますが、将来的には、今これを読んでくれているみなさんが、サッカー日本代表のユニフォームを身にまとい戦えるよう、サッカーを楽しみながら頑張ってもらいたいと思います。

アディダス サッカー日本代表 2022 ユニフォーム大解剖！

スリーストライプス

オーセンティックのユニフォームは、アディダスを象徴するスリーラインの縁に、赤い色が入れている。



首元に隠された赤パネル

2011年にカタールの地でアジアの頂点に輝いた時に着用していたユニフォームから着想を得ている。選手が着用すると隠れてしまうが、見えないところにもこだわりが詰まっている。



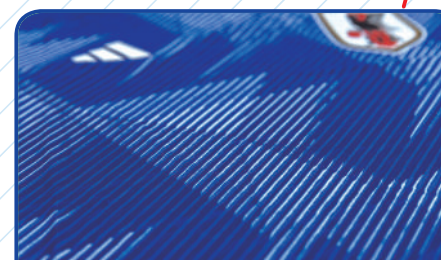
日の丸

国を背負って戦う戦士をイメージして、国旗は背面につけられている。また、サポーターの応援が背中を押すというメッセージも含まれる。



アディダス サッカー日本代表 2022 アウェイ ユニフォーム

白と黒のシンプルな配色をベースにしながら、袖の部分は赤と青色の模様が立体的に重ねられており、これまでにない新鮮なデザインになっている。折り紙のコンセプトはホームと同じだが、折り紙を折る途中でできる様々な形をグラフィックのモチーフにしている。



折り紙のグラフィック

折り紙の展開図や折り線をモチーフにした、幾何学的な模様が幾重にも重なりあっている。アディダスが「ジャパンプルー」として定める青色をベースカラーに採用している。



赤パイピング

ユニフォームを縁取る赤いパイピングが全体を引き締めており、よく見ると「日本」と「JAPAN」の文字が入っている。

豆知識 サッカー日本代表のユニフォームが青いのはなぜ？

初めて選抜チームの形でサッカー日本代表が編成されたのが1930年。そのときに「国土を取り巻く海の色」をチームカラーとして採用したのがきっかけで、青がサッカー日本代表の色として定着した。